

ギターとピアノと歌とトロンボーンのために

ギター：尾尻雅弘 ソプラノ：美堂舞

ピアノ：光永浩一郎 トロンボーン：本田康平

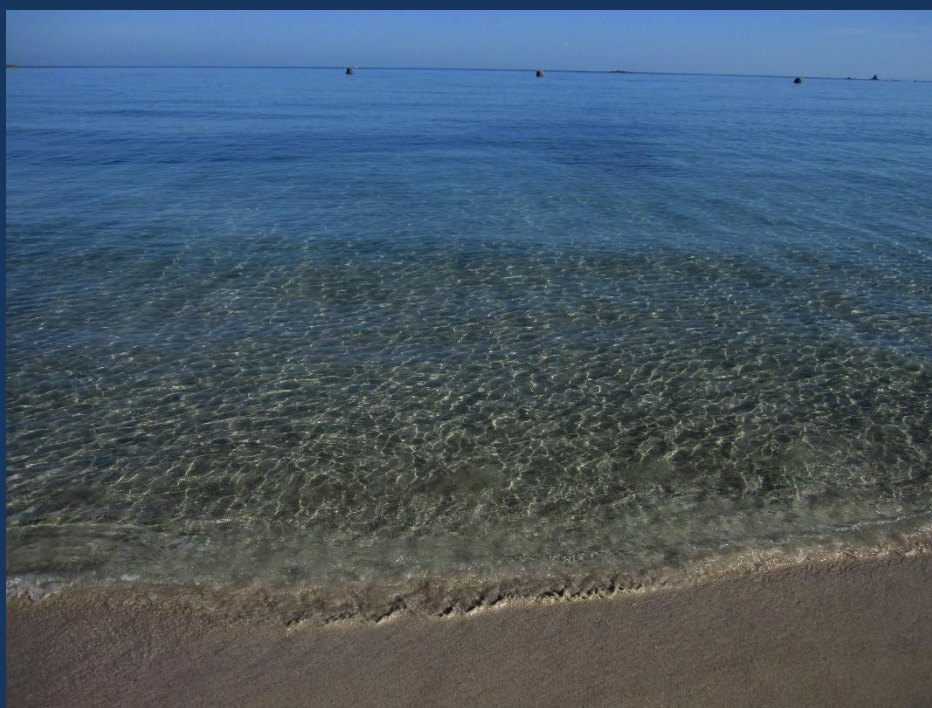
ブラジルの作曲家、ニャタリの名作と 光永浩一郎、近藤浩平の音楽を奏でる

ニャタリ：ブラジリアーナ第8番 ピシンギンニャにバラを 悲痛（2017年左手版）

光永浩一郎：水のカンタータ 百人一首による歌曲集

近藤浩平：コルドバへの道 麦草峠のギター 週末は晴れの予報

歌曲集「木にかえる」 灰色の雲、冬の草原



2017年10月15日（日）14時00分開演（13時30分開場） 予約¥3,000 当日¥3,500

会場：アコースティック・ライブ クレオール

（神戸市中央区山本通2丁目3-12 <http://creole-live.net>）

予約・問い合わせ：近藤浩平 contact@koheikondo.com TEL:090-3896-2895

<http://koheikondo.com>

ハダメス・ニャタリ (ジナタリ) Radamés Gnattali

ヴィラ＝ロボス以降注目すべきブラジル人作曲家、1906年ポルトアンブレ生。作・編曲家・指揮者・ピアニストとして活躍。独特の斬新かつ幻惑的な感覚は、ショーロの現代化に大きな役割をはたす。編曲作品のほか、オリジナルのポピュラー作品は百数曲、その他クラシック系列の作品も百数曲以上残す。1988年に没するまで生涯を通じブラジル音楽界に影響を与えつづけた。

光永浩一郎

1966年熊本生まれ。東京藝大付属高校を経て、東京藝術大学作曲科、同大学院で研鑽を積む。ジャンルにこだわらない音楽活動を行い、近年は邦楽器のための作品も多い。混声合唱、和洋管弦楽、オンドマルトノのための「水のカンタータ“調和の靈感”により、熊本県文化懇話会新人賞を受賞。ピアニストとしても活動し、2007年発表CD「ブラジリアーナ第8番：ニャタリ・ピアノ曲集」は「レコード芸術」で特選に選出された。ベルリン・フィルハーモニーでのリサイタルで演奏された「サムライ」や、2017年2月に初演された協奏曲「泉のコンセル」をはじめ館野泉氏のための左手のピアノ作品も知られている。

近藤浩平

2010年ベルリン・ドイツ・オペラ《Klang der Welt Ostasien(世界の音・東アジア)》作曲コンクール第2位(室内楽)。左手のピアノ曲は智内威雄氏、館野泉氏による演奏機会が多く、ベルリン・フィルハーモニーでも演奏された。作品はブダペスト祝祭管弦楽団室内楽シリーズ、国際ワーグナー協会総会など世界各地で演奏されている。ギター、ピアノやヴィオラの協奏曲や、野村誠氏とのコラボレーションによる鍵盤ハーモニカ作品もある。「海辺の祈り～震災と原子炉の犠牲者への追悼」は世界各地で再演100回を超える。2016年にはアリゾナ州で約1週間にわたるKondo Festivalが開催された。

<http://koheikondo.com>

